

ご存じですか！文化財

96

「建長五年の青石塔婆」

市指定有形文化財 昭和34年6月16日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



南大桑3341

大桑小学校の隣にある乗蔵院の墓地に建長五(1253)年銘の青石塔婆が建っています。青石塔婆とは、板石塔婆、板碑とも言われる石製の供養塔です。この青石塔婆は地上高158cm、幅47cmを測ります。本尊は蓮座を伴う阿弥陀種子(キリーク)で、深く薬研彫りされたその姿は、初期の青石塔婆にみられる力強い印象です。阿弥陀種子の上部には天蓋を配し、莊嚴さを加え、かつて、種子の部分には金泥が施されていたと言われています。なお、蓮座の下には次の銘文が刻まれています。



建長五年の青石塔婆

極重悪人
無他方便
孝子等
建長五年丑八月廿九日
敬白
唯唱念仏
得生極楽
この銘文により、この青石塔婆は、亡き親の追善のためにその子供らによって造立されたことが分かります。
「極重悪人 無他方便 唯唱念仏 得生極楽」(この上もない悪人は極楽に往生する方は他にないが、その悪人もただ南無阿弥陀仏を唱えれば必ず極楽往生ができる)の偈は恵心僧都源信の著した「往生要集」に見え、同偈の所刻例としては初期に属します。また、建長五年銘は市内の青石塔婆の中でも古いものです。